

中小企業景況調査

平成 30 年 11 月

能登鹿北商工会

【調査要領】

1. 調査対象

(1)対象地区（10 商工会）

能美市、美川、白山、かほく市、森本、羽咋市、富来、**能登鹿北**、穴水町、能登町

(2)対象企業数 180 企業

(3)回答企業数 180 企業（回答率 100.0%）

2. 調査対象期間

平成 30 年 7 月～9 月期を対象とし、調査時点は、平成 30 年 9 月 1 日とした。

今期の状況は、今期（30/7-9）と前年同期（29/7-9）を比べた。

3. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査。

(2)調査対象企業の抽出は、業種・規模等有意抽出法による。

4. 回答企業数内訳

	調査対象		回 答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	40	22.2%	40	22.2%
建設業	20	11.1%	20	11.1%
小売業	51	28.3%	51	28.3%
サービス業	69	38.3%	69	38.3%
合 計	180	100.0%	180	100.0%

5. D I とは

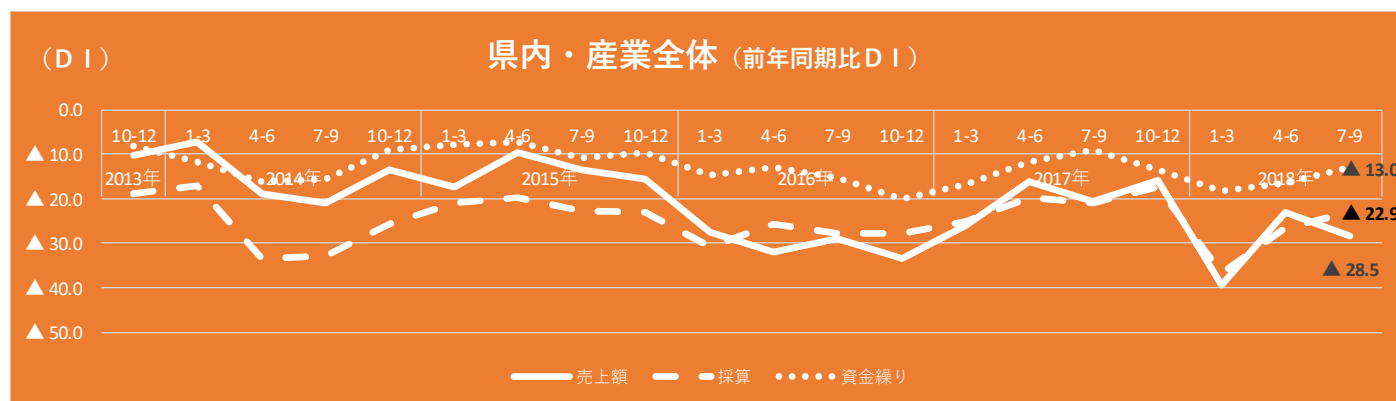
この報告書の中で「D I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気）動向指数の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値を示す指標です。

《産業全体》

採算、資金繰りは改善、売上は悪化

平成 30 年度第 2・四半期（平成 30 年 7 月～9 月期）の産業全体の動向では、前年同期比（以下、各指標とも同じ）の売上額 D I は、△28.5 で前期比 5.4 ポイントの悪化、採算 D I は、△22.9 で前期比 3.6 ポイント、資金繰り D I は、△13.0 で前期比 3.6 ポイントの改善となりました。

業種別で見ると、売上額 D I は製造業が改善、建設業、小売業、サービス業は悪化となりました。また、採算 D I は、製造業、サービス業で改善、建設業、小売業は悪化しました。資金繰り D I では、製造業、小売業、サービス業は改善、建設業は悪化となりました。

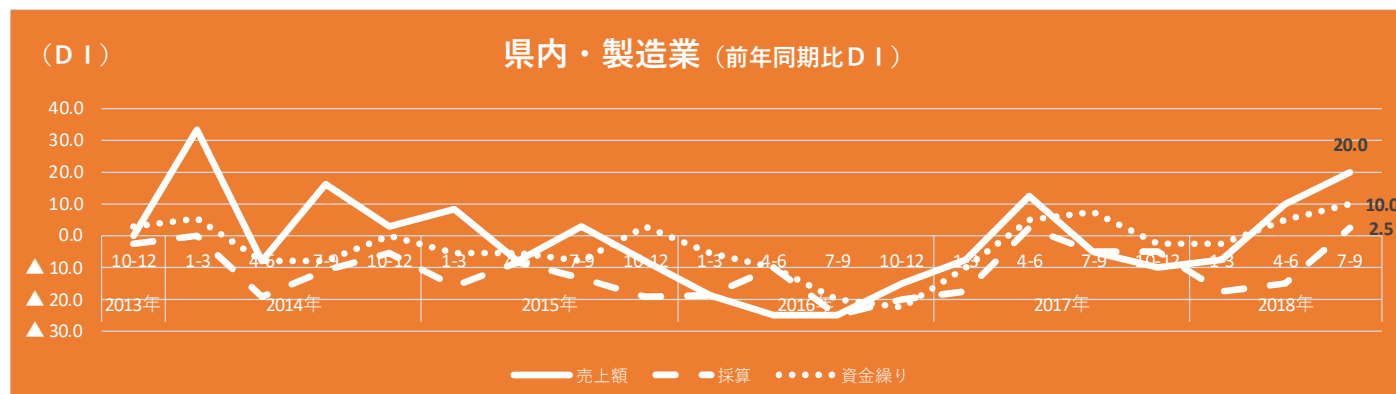


	2013年	2014年				2015年				2016年				2017年				2018年		
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9
売上高	△ 10.1	△ 7.3	△ 19.0	△ 21.1	△ 13.4	△ 17.4	△ 9.5	△ 13.4	△ 15.5	△ 27.4	△ 31.9	△ 29.0	△ 33.5	△ 26.1	△ 16.2	△ 20.6	△ 15.8	△ 39.4	△ 23.1	△ 28.5
採算	△ 19.0	△ 17.1	△ 33.5	△ 32.9	△ 25.6	△ 21.1	△ 19.7	△ 22.7	△ 23.0	△ 30.9	△ 25.7	△ 27.7	△ 27.8	△ 25.0	△ 19.7	△ 20.9	△ 17.4	△ 36.6	△ 26.5	△ 22.9
資金繰り	△ 8.0	△ 11.8	△ 16.1	△ 15.7	△ 9.1	△ 7.9	△ 7.3	△ 10.7	△ 9.6	△ 14.8	△ 12.9	△ 15.3	△ 20.0	△ 16.8	△ 11.8	△ 9.0	△ 13.4	△ 18.3	△ 16.6	△ 13.0

《製造業》

売上額、採算、資金繰りのすべて改善

製造業の動向では、前年同期比（以下、各指標とも同じ）の売上額 D I は、20.0 で前期比 10.0 ポイント、採算 D I は、2.5 で前期比 17.5 ポイント、資金繰り D I は、10.0 で前期比 5.0 ポイントの改善となり、全ての D I が改善しました。

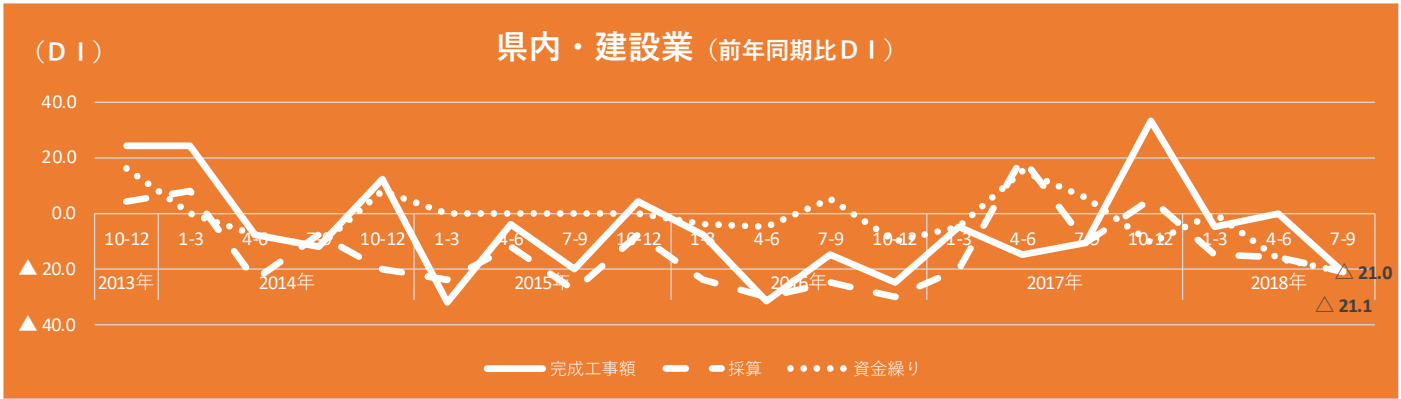


	2013年	2014年				2015年				2016年				2017年				2018年		
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9
売上高	0.0	33.3	△ 8.1	16.2	2.7	8.1	△ 8.1	2.7	△ 8.1	△ 18.9	△ 25.0	△ 25.0	△ 15.0	△ 7.5	12.5	△ 5.1	△ 10.0	△ 7.5	10.0	20.0
採算	△ 2.7	0.0	△ 19.5	△ 11.1	△ 5.4	△ 16.2	△ 8.4	△ 13.5	△ 19.5	△ 18.9	△ 10.3	△ 25.0	△ 20.0	△ 17.5	2.5	△ 5.0	△ 5.2	△ 17.5	△ 15.0	2.5
資金繰り	2.8	5.4	△ 8.1	△ 8.1	0.0	△ 5.4	△ 5.4	△ 8.1	2.7	△ 5.5	△ 10.0	△ 20.0	△ 22.5	△ 10.0	5.0	7.5	△ 2.5	△ 2.5	5.0	10.0

《建設業》

完成工事額、採算、資金繰りのすべて悪化

建設業の動向では、前年同期比（以下、各指標とも同じ）の完成工事額D Iは、△21.0で前期比 21.0 ポイント、採算D Iは、△21.0 で前期比 5.2 ポイント、資金繰りD Iは、△21.1で前期比 4.5 ポイントの悪化となり、全てのD Iが悪化しました。



	2013年	2014年				2015年				2016年				2017年				2018年		
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9
完成工事額	24.0	24.0	△ 8.0	△ 12.0	12.0	△ 32.0	△ 4.0	△ 20.0	4.0	△ 8.0	△ 31.6	△ 15.0	△ 25.0	△ 5.0	△ 15.0	△ 10.5	33.3	△ 5.0	0.0	△ 21.0
採算	4.0	8.0	△ 24.0	△ 8.0	△ 20.0	△ 24.0	△ 12.0	△ 28.0	△ 8.0	△ 24.0	△ 30.0	△ 25.0	△ 30.0	△ 20.0	20.0	△ 10.5	5.2	△ 15.0	△ 15.8	△ 21.0
資金繰り	16.0	0.0	△ 8.0	△ 12.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 4.0	△ 5.0	5.0	△ 10.0	△ 5.0	15.0	5.3	△ 10.5	0.0	△ 16.6	△ 21.1

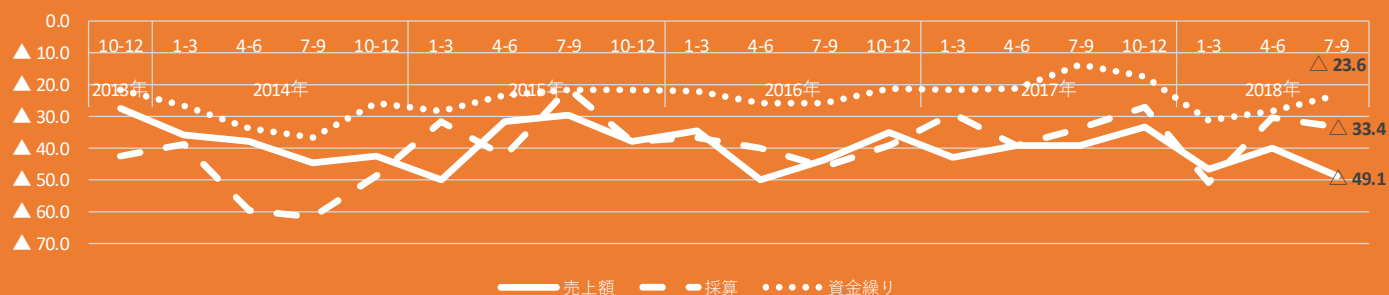
《小売業》

資金繰りは改善、売上、採算は悪化

小売業の動向では、前年同期比（以下、各指標とも同じ）の売上額D Iは、△49.1で前期比 9.1 ポイント、採算D Iは、△33.4で前期比 2.8 ポイントの悪化、資金繰りD Iは、△23.6で前期比 5.0 ポイントの改善となりました。

(D I)

県内・小売業（前年同月比）



	2013年	2014年				2015年				2016年				2017年				2018年		
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9
売上高	△ 27.7	△ 36.2	△ 38.3	△ 44.7	△ 42.6	△ 50.0	△ 31.9	△ 29.8	△ 38.3	△ 34.7	△ 50.0	△ 44.0	△ 35.3	△ 43.1	△ 39.2	△ 39.2	△ 33.3	△ 47.0	△ 40.0	△ 49.1
採算	△ 42.6	△ 39.1	△ 59.6	△ 61.7	△ 48.9	△ 32.0	△ 42.5	△ 21.3	△ 38.3	△ 37.0	△ 40.0	△ 46.0	△ 39.2	△ 29.4	△ 39.3	△ 34.0	△ 27.4	△ 51.0	△ 30.6	△ 33.4
資金繰り	△ 21.7	△ 26.7	△ 34.1	△ 36.9	△ 26.1	△ 28.3	△ 23.4	△ 21.7	△ 21.8	△ 22.2	△ 26.0	△ 26.0	△ 21.6	△ 22.0	△ 21.6	△ 14.0	△ 17.7	△ 31.4	△ 28.6	△ 23.6

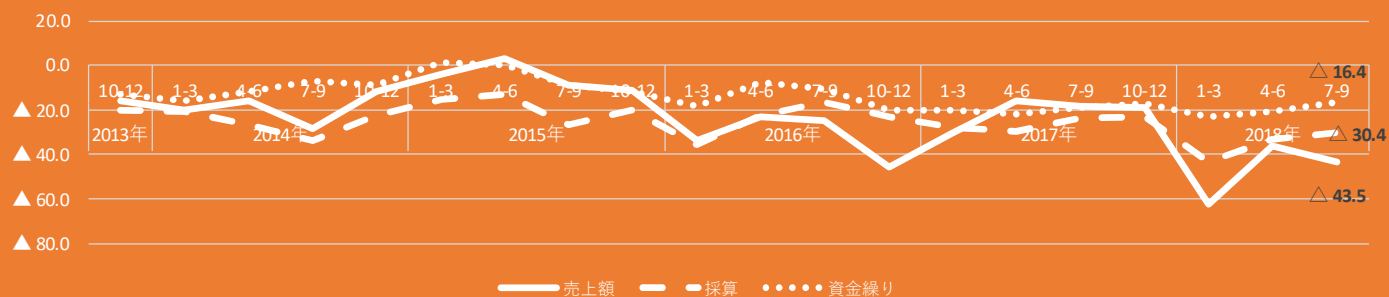
《サービス業》

採算、資金繰りは改善、売上は悪化

サービス業の動向では、前年同期比（以下、各指標とも同じ）の売上額D Iは、△43.5で前期比7.2ポイントの悪化、採算D Iは、△30.4で前期比3.0ポイント、資金繰りD Iは、△16.4で前期比4.2ポイントの改善となりました。

(D I)

県内・サービス業（前年同月比）



	2013年	2014年				2015年				2016年				2017年				2018年			
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	
売上高	△ 15.7	△ 20.3	△ 15.7	△ 28.2	△ 11.6	△ 4.2	2.9	△ 8.6	△ 11.2	△ 33.8	△ 23.2	△ 24.6	△ 45.6	△ 30.4	△ 16.2	△ 18.2	△ 19.1	△ 62.3	△ 36.3	△ 43.5	
採算	△ 20.0	△ 20.6	△ 26.7	△ 33.8	△ 22.5	△ 15.5	△ 12.8	△ 26.7	△ 20.0	△ 35.8	△ 22.7	△ 16.5	△ 23.2	△ 27.6	△ 29.8	△ 23.5	△ 23.2	△ 43.5	△ 33.4	△ 30.4	
資金繰り	△ 13.2	△ 16.1	△ 11.7	△ 7.0	△ 8.8	1.4	0.0	△ 8.8	△ 11.6	△ 18.6	△ 7.4	△ 10.4	△ 20.3	△ 20.3	△ 22.0	△ 19.1	△ 17.4	△ 23.2	△ 20.6	△ 16.4	

自社の業況についてのコメント（能登鹿北関係分）

業種	コメント
製造業	受注量に対して、人と設備が足りない。この夏も暑かったので、従業員の能率も落ちていると感じる。人手不足はこれからもっと深刻になると思われる。
小売業	今年の夏は異常な暑さで、外出するのも健康を害するため、商売に大変影響があった。
サービス業	7月、8月は多忙な時期なので来店客があった。特に今年の夏は暑かったので、カットの客が多かったように感じる。
	今期は、特に材料の高騰により、仕入額が上昇した。
	観光シーズンなので、毎年夏場は客数が増加する。しかし、今年は空梅雨から猛暑と海水浴客が増えるかと思ったが、昨年より減った気がする。のと里山海道、能越道、新幹線効果は落ち着いた感がある。
	売上減少は猛暑の影響が考えられる。リピーターが前年より増え、予約時期も早くなった。先々のプランを提示し、早期の予約確保に努めたい。